

プロジェクトレポート

MOLチャリタブルトラスト
2021-2022年
第一次募集助成対象プロジェクト
(CFP 1)



目次

議長挨拶	3
161 Foundation 挨拶	
第一次助成プロジェクトタイムライン	
ソーシャルプロジェクト	
1. Caritas Mauritius	6
2. EcoSud	7
3. Ti Rayons Soleil	8
4. Mauriwood Film Industry Artists Association	9
5. Action Familiale	10
6. Bonheur Associé aux Enfants	11
7. La Chaux Mahebourg Academy Football Club	12
8. Loreto College Mahebourg	13
9. Mahebourg Espoir	14
10. Mouvement Bien Etre de Cité La Chaux	15
11. Youth With Disabilities Empowerment Platform	16
環境保全プロジェクト	
12. Ecomode Society	17
13. Mission Verte	18
14. Marine Megafauna Conservation Organisation (MMCO)	19
15. Pointe d'Esny Sanctuary Foundation	20
16. Precious Plastic Mauritius	21
17. RESPECT	22
18. La Vallée de Ferney Conservation Trust	23
19. Association pour le Développement Durable (ADD)	24
20. Biodiversity Preservation	25
21. FALCON Association	26
22. FORENA	27



議長挨拶

MOLチャリタブルトラスト 菅野一彦

MOLチャリタブルトラスト(以下、「基金」)の第一次募集で助成対象に選ばれたプロジェクトの創刊号をお届けできることを大変光栄に思います。この版では、モーリシャスの持続可能な発展に対する各基金の揺るぎない努力と、パートナーであるNGOの素晴らしい活動を紹介していきます。

商船三井が2020年にモーリシャスに進出して以降、基金の社会・環境問題への取組みに対する姿勢に変わりはありません。2021年6月に当社は、基金を拡大し使命を適切に果たすことを目的として、現地法人MOL (Mauritius) Ltd.を設立しました。モーリシャスへの商船三井の慈善活動の一環とする基金の設立によって、地域社会に貢献し向上を目指すという商船三井の使命をさらに確固たるものにしました。

国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」に基づき、商船三井は5つのサステナビリティ課題のうち、「Environment - 海洋・地球環境の保全」と「Human & Community - 人の活躍と地域社会の発展」を最重要課題と位置づけています。基金は、モーリシャスの環境と人々を支援する継続的な取り組みの一環として、2021年9月に助成対象プロジェクトの募集を実施し、これら目標の達成を支援するために最も適したNGOを選定しました。当基金には約3億円が拠出され、今後5~6年間で年間約5,000万円 (MUR 2,000万) 助成することを予定しています。

この募集により、20近くのプロジェクトが採択され、それぞれに1年間で最大100万MURの資金が提供しました。選考プロセスは、I61 FOUNDATIONの貴重な支援に支えられて、透明性と有効性を念頭に行われました。その後もI61 FOUNDATIONと協力して、NGOの事務手続き、現地視察、現地のネットワーク作り、ワークショップ開催などを支援しました。

不測の事態に見舞われ、失敗に終わったプロジェクトも一部ありましたが、ほとんどは大成功を収めました。本誌にてお分かりいただけるように、各パートナーNGOは、食料安全保障、環境保全、地域開発など、さまざまなプロジェクトに精力的に取り組んでいます。

私が議長在任中に、これらのプロジェクトが、これまで多くの恵まれない家族、子供たち、そして親たちの人生を発展させていく様子を目の当たりにして、大きな喜びを感じています。プロジェクトの受益者からの声が、基金の活動が前向きで具体的な効果をもたらしていることを証明しています。また、基金の取り組みが日本とモーリシャスの架け橋に、そしてグローバルな知識交流の促進にもつながっています。

基金に多大なる貢献をしてくれましたパートナーNGOとI61 FOUNDATIONに心から感謝いたします。パートナーの皆さん、今後のコラボレーションが持つ無限の可能性に期待しています。私たちは共に、すべての人に恩恵をもたらす未来を創造することができるのです。

菅野一彦





I61 Foundation挨拶

協力者、支援者、受益者の皆様へ

当団体は脆弱な地域社会における持続可能な変化・発展を支援しています。NPOは単独で機能することはできませんが、成功を確実にするためには、能力と知識を発揮できるよう支援する戦略的パートナーが必要です。それは、I61 FOUNDATIONが結んだMOLチャリタブルトラストと第一次募集(CFP1)で採択されたNPOとのパートナーシップをご覧になれば明らかなです。

I61 FOUNDATIONは、これらのパートナーシップの選考・仲介をし、コラボレーションを推進する上で大きな力となってきました。さらに、FOUNDATIONのコンプライアンス・チームが実際に、すべての関係者がMOLチャリタブルトラストが定める特定の基準を満たしているかどうかを審査し、プロジェクト完了までの進捗状況を監視・評価しています。

MOLチャリタブルトラストは、このプロセスの重要性を深く理解しており、だからこそ、脆弱な地域社会を支援し、自然の回復・保全・保護を目的としたプロジェクトを支援するという目的の達成に取り組むI61 FOUNDATIONに提携を要請しました。

I61 FOUNDATIONにとって、MOLチャリタブルトラストの取り組みをサポートすることは、名誉なことであり、喜びでもあります。モリシヤスの脆弱な地域社会を共に修復、再生、再建に取り組むために、今後ともよろしくお願ひします。

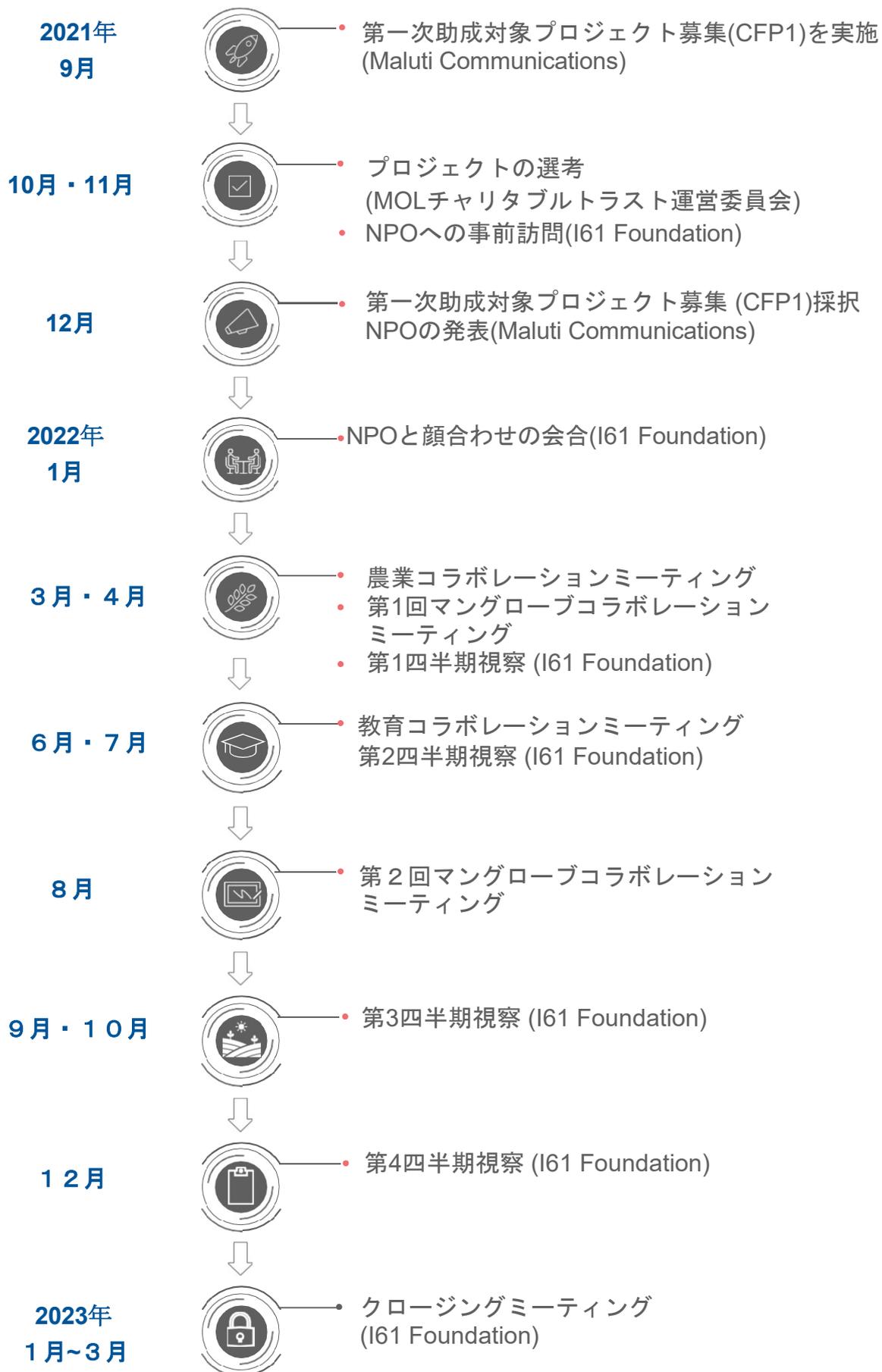
Tam Geldenhuys

161 Foundation

創設者

MOLチャリタブルトラストモニタリング機関

第一次助成プロジェクトタイムライン





ソーシャル プロジェクト

受益者数



142人

助成金額



MUR 984,250

期間



12カ月



パティスリー技能基礎コース



トゥルー・ドーズでの修了式

プロジェクト概要

モーリシャス東部および南東部の社会的に脆弱なコミュニティに技能と知識を提供することが、プロジェクトの目的です。「ライフ・リーダーシップ・スキル」、「機能的リテラシー基礎コース」、「パティスリー技能基礎コース」の3つのトレーニングプログラムが提案されました。参加者は、読み書き、金銭管理、コミュニケーションの取り方、感情表現、日常生活での規律などを学び、中にはパティスリーのプロの技能を教わった人もいました。関係者の反応は非常に好意的で、これらのプログラムが地域社会に大きな活力を与えるのに役立ちました。

プロジェクトの成果

1. 参加者は、日々の苦難に立ち向かう、より安定した強さを身につけました。
2. 参加者は、自分の目標と優先順位を決めることができました。
3. その結果、自尊心が回復し、セルフケアが向上し、自信が持てるようになりました。
4. 参加者は、自分の感情を表現することを学びました。
5. 積極的な聞く姿勢とコミュニケーション能力が向上しました。
6. 起業した参加者もいました。
7. 財務管理の向上にも貢献しました。

協力団体:

1. Caritas Bel Air

2. Caritas Mahebourg

UN SDGs





受益者数



133人

助成金額



MUR 994,000

期間



12ヶ月



ソリダリティー・ショップ
「ラ・ブティック・ソライダー」(La Boutik Solider)



プロジェクト受益者の皆さん

プロジェクト概要

プロジェクトは、アグロエコロジー(農業生態学)を通じて食料安全保障と主権向上を目標とするEco-Sudの戦略目標に沿った、昨年に引き続き地域主導で行われた取り組みです。ヴィル・ノワール(Ville Noire)に農業生態学的農場を設立し、地域社会のために能力開発セッションを実施しました。今年、私たちは「ソリダリティー・ショップ」への支援を拡大し、南東部地域の30世帯の弱い立場にある家族のために役立てています。このショップでは、基本的な食料品や衛生用品を手頃な価格で提供し、食料へのアクセスを確保しています。さらに、Eco-SudはROCIにキッチンを設置し、地元に適した食品を普及させるとともに、地域住民が栽培や調理法を学び、一緒に食事をする機会を提供しています。

プロジェクトの成果

1. 困窮している家庭に手頃な価格で栄養価の高い食品を提供し、失業による未払い金の支払いができるようになりました。
2. 受益者は、より低価格で健康的な食品を入手できることに感謝の意を表しました。
3. 受益者は、スローコンポスト、パーミコンポスト、苗木栽培に関する知識を身につけました。
4. 「ROCキッチン」はコミュニティづくりを推進し、受益者間の連帯感を高めました。
5. 2022年、このプロジェクトに363家族と34人が参加し、食料の寄付と研修を実施しました。

協力団体:

1. Caritas Mauritius 2. Mahebourg Espoir

UNSDGs





受益者数



28人

助成金額

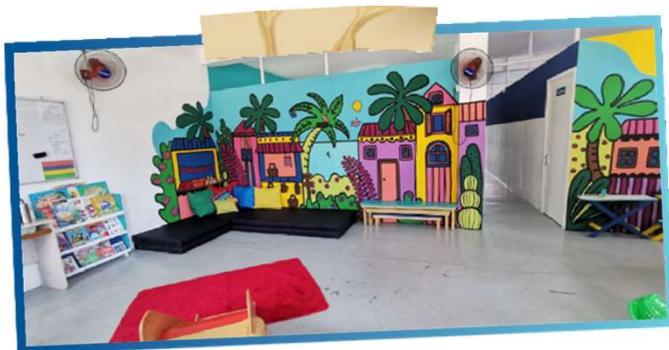


MUR 500,000

期間



12ヶ月



プレプライマリースクール(就学前教育機関)
有料ゾーン



キッズショーで踊る子供たち

プロジェクト概要

MOLチャリタブルトラストは、社会的立場の弱い地域の子どもたちのための就学前教育機関であるレ・ティ・セラ・エコール・マテルネル(Les Ti Serins Ecole Maternelle)を支援しました。このプロジェクトには、無料送迎、栄養サポート、心理的サポート、親のエンパワーメント、医療サポート、改修工事、スタッフ育成が含まれています。

プロジェクトの成果

1. 無料送迎、健康管理、食糧支援プログラムは成功し、生徒の家族にとって大きな経済的支援となりました。
2. 親のエンパワーメントプログラムのおかげで、親は子供たちとの絆を深め、子供たちを理解することができました。
3. 施設や設備の改修は、プロジェクト開始時に無事に完了しました。

協力団体:

1. Mahebourg Espoir
2. 障害のある若者のエンパワーメント・プラットフォーム
(Youth With Disabilities Empowerment Platform)

UNSDGs



Mauriwood Film Industry Artists Association

南東部地域におけるNGOの活動を紹介します。ドキュメンタリーを制作



注力分野



受益者数

助成金額

期間



モーリシャス

MUR 1,000,000

19 ヶ月



FALCONの農業用地での撮影



Association pour le Developpement Durabl (ADD)で撮影

プロジェクト概要

「アイランド・ネイチャー・リボーン(Island Nature Reborn)」の制作は、2022年11月に90%完成していましたが、編集上のいくつかの制約により遅れています。ドキュメンタリーに登場する7つのNGO団体それぞれを公式で紹介するホスト役も加わるため、完成は2023年7月末まで延長されました。このプロジェクトを締めくくる形式は、「正式版」と呼ばれ、1時間15分のドキュメンタリーフィルムとして、またはNGOを紹介するショート・クリップとして放送が可能です。中間にセグメントが追加され、メインのホスト役が3人の10代の若者とともに島を巡り、各NGOを訪問します。この回は、学校、NGOの受益者、一般市民などを対象に放送され、必要な追加作業については、他のスポンサーから共同で資金提供を受ける予定です。

プロジェクトの成果

1. 社会／環境を大儀としたボランティア活動を奨励。
2. 食用植物栽培の重要性を認識。
3. 自然遺産の保護・保全。

協力団体:

1. MOLチャリタブルトラストがCFP1で支援するNGO団体



Action Familiale

ライフスキルトレーニングを通じた
家族と青少年のエンパワーメント向上の育成



注力分野



受益者数



156人

助成金額



MUR 1,000,000

期間



11ヶ月



RADOの受益者



ワークショップに参加するRADOの受益者

プロジェクト概要

Action Familiale(アクション・ファミリアーレ)は、「WAKASHIO」号の燃料油流出事故と新型コロナウイルス感染症の大流行の影響を受けた35家族を特定しました。70人の成人の自尊心を高めることを目的とし、その他に彼らが興味のある活動を探求するためのライフスキルトレーニングを提供しました。さらに、より個人的な問題について話し合うために、年に2回、70人の成人に対して個別指導を行いました。35組の夫婦に対して、関係改善のスキルを身につけるためのツールを提供することで、人生のパートナーが経験する問題に取り組みました。50人のこうした家庭の子どもたちに、現在の状況に対処するための研修を提供。RADOは、彼らが前へ進むためのライフスキルを身につける手助けをすることを目指しています。

プロジェクトの成果

1. 受益者に個別のアクティブリスニングを提供し、彼らがどのように変化を起こせるかを考える手助けをしました。
2. RADOは、トレーニングを通じて子どもたちの能力を強化し、技能を磨き、自尊心を高めることで、子どもたちに影響を与え、そうすることで、子どもたちは自分自身に良いイメージを持ち、責任ある市民となります。
3. Aider Mon Enfant a Grandir (わが子の成長を見守る) — 親たちがグループの一員となり、現代の親子関係に関わるさまざまなテーマについて学び、考えることができることで、大人たちは衝撃を受けました。大人たちもまた、調和のとれた家庭生活を築けるよう力を与えられました。
4. カップルトレーニング — 夫婦はセッションを受けることで、当事者である夫婦間、ひいては家族の間に、より大きな絆を築く方法を実感し、恩恵を受けています。

協力団体:

1. Mahebourg Espoir 2. Caritas 3. Ecosud 4. Revey Twa Fam

UN SDGs



Bonheur Associé aux Enfants

南東部地域の子どもたちへの食事支援

注力分野



地域発展



教育



その他



受益者数



65人

助成金額



MUR 997,900

期間



12ヶ月



BAE社の敷地内でランチ弁当を提供



朝、お弁当を受け取る生徒たち

プロジェクト概要

プロジェクトでは、「WAKASHIO」号事故災害や新型コロナ感染の大流行、アルコール、麻薬、売春などの問題で経済的に困難な状況にあるシテ・ボーバロン(Cite Beau Vallon)の38世帯65人の子供たちを支援しています。

プロジェクトの成果

1. 毎日楽しく学校に通う子どもが増加
2. 悪い影響を受けて街をさまよう子どもたちが減少。65人中45人の子どもたちがBAEの放課後教育プログラムに参加しました。
3. 子どもたちは恐れたり恥ずかしがったりすることもなく登校—他の子どもたちと同じように、授業に必要なものを持って。
4. AEGが学校に通う子どもたちに28週間給食を提供したことで、両親の経済的負担は年間1万ルピー軽減されました。彼らは家計を再配分することで、抱えていた経済的問題を解決し、子供たちとともにより快適に暮らせるようになりました。
5. 祝日、母の日、クリスマスなど、重要な行事が祝われ、子供たちに大きな喜びを与えました。
6. MOLチャリタブルトラストのスタッフ2名、保護者4名、子どもたち17名がコーダン(Caudan)でのピアノ・コンサートに参加しました。子供たちはこれまでこのようなイベントに参加したことがありませんでしたが、音楽の素晴らしさに触れ、公の場での振る舞い方を教わり、他の子どもたちとの交流を深めました。

協力団体:

1. Precious Plastic Mauritius

UN SDGs



受益者数



45人

助成金額



MUR 1,000,000

期間



5ヶ月



駐モーリシャス日本国特命全権大使 川口周一郎氏より、子供たちにサッカー用具が配布されました



2022年12月にサッカー大会開催

プロジェクト概要

プロジェクトでは、社会的に恵まれない立場にある子どもたちへサッカーの修練を行い、チームの一員となる機会を与えられました。大人たちのアルコール依存症や薬物摂取といった社会的惨状に直面しながらも、子供たちは健康であることに自信を持ち、人生に意義ある喜びと幸福感、そして帰属意識を取り戻しました。地域の大人たちも一緒になって子供たちをサポートしました。

プロジェクトの成果

LCMAFCのモーリシャスサッカー協会への登録は、協会にとって最初の重要なマイルストーンとなりました。その後、2人のコーチを養成し、4人の資格を持つコーチで子どもたちを指導できるようにしました。LCMAFCロゴがデザインされたユニフォームが製作され、そのユニフォームなどのサッカー用具は、駐モーリシャス日本国特命全権大使 川口周一郎氏が出席された祝賀イベントで子どもたちに手渡されました。子どもたちは、ファーニー・バレー (Ferney Valley) への遠征に参加したり、マエブール (Mahebourg) でのトーナメントや、自分たちクラブの試合に出場しました。サッカーチームの一員になることで、子どもたちはより健康で規律正しくなり、チームとして協力し合い、お互いやコーチを尊敬することを学びました。

協力団体:

1. Precious Plastic Mauritius

UN SDGs





注力分野



受益者数



44人

助成金額



MUR 592,350

期間



12ヶ月



教育ツアー エボニーの森
(Ebony Forest) 訪問



教育ツアー キュリアスコーナー
(Curious Corner) 訪問

プロジェクト概要

経済事情により、生徒たちは朝食をほとんど食べずに登校しています。その結果、彼らの学校の成績は良くありません。家ではクレオール語を話しているにもかかわらず、試験は英語で行われ、女子生徒はフランス語で授業を受けているという状況がさらに学校の成績に影響を与えています。そのため補習授業は非常に重要です。経済的な重圧のため、親たちは授業で使う文房具や備品を購入ができず、子供たちが興味のある場所にも連れて行くことができません。プロジェクトは、これら4つの問題すべてに対処することに成功しました。

プロジェクトの成果

1. ソリダリティ・クラブの生徒44人にサンドイッチ、果物、ジュースを毎日提供。保護者は毎月1,500ルピーから2,000ルピーの節約になりました。このことは、学校への出席率や成績にプラスの影響を与えましたが、残念ながら成果の定量化は叶いませんでした。第二次募集(CFP2)のためにこれを記録するよう求めました。
2. エクステンド・プログラム(Extended Program)の女子生徒23人に対する補習教育(月1,000ルピーの節約) - 授業は3つのグループに分けられ、英語とフランス語で週2回行われました。その結果、読み書きのスキルが大幅に向上し、語彙も増え、勉強に対する姿勢も全体的に改善されました。
3. 文房具や書籍(備品)の購入 - これは、授業が均等なペースで義要目に沿って、同じレベルで行われるよう、教師たちの助けになっています。生徒たちは、クラスの他の女子生徒と同じ機会を与えられ、仲間に加えられていると感じています。それが彼女たちの自信とモチベーションを高め、この科目への愛着を高めています。
4. カゼラ(Casela, Odysee)、オデュッセオ、キュリアスコーナー(Curious Corner)への遠足 - 生徒たちからの希望があったものの、金銭的な余裕がなかったため、今回の助成で訪問することができました。彼女たちは、いろいろなことに触れるのが大好きです!

協力団体:

1. Biodiversity Preservation

UN SDGs



Mahebourg Espoir

幼稚園プロジェクト



注力分野



受益者数



23人

助成金額



MUR 1,000,000

期間



12ヶ月



授業中のマエブール・エスポワール (Mahebourg Espoir) の子供たち



菜園を訪れる子供たち

プロジェクト概要

マエブール・エスポワール(Mahebourg Espoir Kindergarten) 幼稚園は、シテ・ラ・ショール(Cité La Chaux)とシテ・トール(Cité Tole)の漁港近郊に住む23人の園児を受け入れています。この地域の3つの就学前学校は、「WAKASHIO」号事故災害や新型コロナウイルスの大流行の後、失業により家族が学費を払えなくなったため閉鎖されました。

プロジェクトの成果

- 3歳から6歳の子ども23人に初等教育を実施し、子ども1人当たり年間3,100ルピーの節約に成功しました。
- 朝食、昼食、おやつを毎日子どもたちに提供することで、保護者は子ども1人当たり年間1,800ルピーの節約になりました。- 欠席率が31%から20%に減少しました。
- 保護者との交流の拡大 - 出席率向上を目的として、地元の村落社会センターで保護者会を開催しました(送迎付き)。
- ソーシャルワーカーを雇い、家庭に電話をかけたり、欠席園児の家庭訪問をしたりすることで、出席率が向上し、教師と保護者の交流も深まりました。
- 遠隔地シテ・トール(Cité Tole)を含むすべての子どもたちをスクールのワゴン車で自宅に迎えに行くことで、出席率がさらに向上しました。保護者は、子ども1人当たり年間2,640ルピーの節約になりました。
- 攻撃的な行動をとる子どもには、子どもや親といったレベルで対応しました。心理学者、教学官、自閉症専門家など、外部からの支援を求めました。

協力団体:

1. FALCON Association 2. Ti Rayons Soleil 3. Eco-sud

UN SDGs



NGO:

Mouvement Bien Être de Cité La Chaux (MBECC)

シテ・ラ・ショー(Cité La Chaux)の潟外漁民のエンパワーメント向上

注力分野



地域発展



教育



その他



受益者数



6人

助成金額



MUR 1,000,000

期間



4ヶ月



「MOL Vansouet」の就航



シテ・ラ・ショー(Cité La Chaux)の漁師のひとり

プロジェクト概要

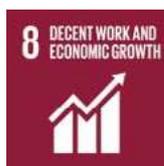
モーリシャス南東部地域では、漁業が衰退しています。必要な経験があるにもかかわらず、定期的な収入源として漁業を営むための適切な道具がないため、多くの人々は非正規の漁師として収入を得ています。そして、

「WAKASHIO」号の座礁によってその状況はさらに悪化し、MBECCはこの状況を非常に懸念していました。シテ・ラ・ショー(Cité La Chaux)の6人の非正規漁師が、正規のビジネスを生み出すためのより正規の環境を整えるために、ボートを購入しました。

プロジェクトの成果

ボートを建造し、2基のエンジン（ラグーン外での漁では義務づけられている）を提供できる業者を見つけるのに長い時間を要しましたが、ボートはマエブール(Mahebourg)のシテ・ラ・ショー(Cité La Chaux)に引き渡され、就航式が行われました。船名は「MOL Vansouet」と命名、2人の船長を含む6人の漁師が選任されました。現在、漁船登録の手続きと、漁師と組合間の協定の調印、そして漁師が漁業を営むための枠組みである協同組合の設立が進められています。

UN SDGs





受益者数



11人

助成金額



MUR 492,000

期間



15ヶ月



木製パレットに植えられたイチゴの苗



FALCONオーガニックファームを訪れた受益者の皆さん

プロジェクト概要

このプロジェクトの目的は、モーリシャスにおける障がいを持つ方々のインクルージョンと権利を向上させることです。障がいを持つ方々には現時点、平等な雇用機会は与えられていません。このプロジェクトは、こうした人々に新しい技術を教え、農業分野における知識の向上を目指しています。このトレーニングを通じてYWDEPは、起業家を育成し、彼らが自立して生活し生計を立てられるようにすることを計画しました。

プロジェクトの成果

1. FALCONとの広範なパートナーシップ：

- (i) 播種、植え付け、きのこ栽培に関するトレーニング
- (ii) FAREIとFALCONの視察
- (iii) 青少年スポーツ省などの組織とともに、ウィッキングベッド(底面灌水式育成床)の制作に関するコンペティションへの参加
- (iv) 青少年スポーツ省とFALCONとともに、1年間の活動の功績を称えるガーデニングの表彰式を開催

2. プレシャス・プラスティック社(Precious Plastic Mauritius)との共同作業で、リサイクル素材を使用したオリジナル商品を製作・販売しました。

3. 学期ごとに保護者会とワークショップを開催し、保護者にプロジェクトの進捗状況を説明しました。

4. YWDEPIは最初の家主から敷地の明け渡しを求められましたが、移転先が見つかり、改築が行われ、協会は移転した。そのため、ガーデニング・プロジェクトも移転し作業も再開されました。

協力団体:

1. FALCON Association 2. Precious Plastic Mauritius

UN SDGs



A close-up photograph showing an elderly hand on the left and a child's hand on the right, both cupping a small green seedling with soil. The background is a soft-focus outdoor setting with trees and a path. The text "環境プロジェクト" is overlaid in the center in white.

環境プロジェクト

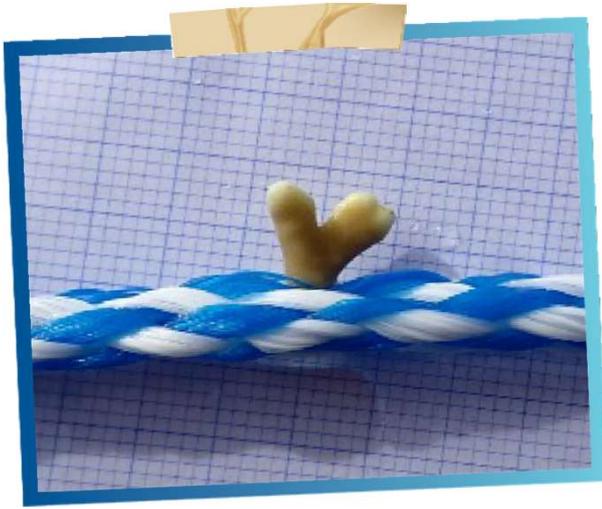
受益者数



助成金額



期間



サンゴの破片をロープ苗床に設置
 (2021年1月)



同じサンゴ(苗床での25ヶ月後の
 ミレポラの種、2023年1月)

プロジェクト概要

このプロジェクトの主な目的は、ポワント・デスニー(Pointe d' Esny)のサンゴ礁を保護することでした。損傷したサンゴの破片は、ポワント・デスニーの「WAKASHIO」号沈没現場から、ポワント・オ・フィーユ(Pointe aux Feuilles)の養殖場に運び、望ましい大きさに育った時点で、再びその場所に移植されます。商船三井の寄付で、NGOは資材やサンゴのかけらを運搬するための4X4車を購入しました。

プロジェクトの成果

1. 破損したサンゴの破片は、無事に苗床に持ち込まれました。それらが完全に成長し、劣化した場所に持ち帰る準備が整うまで、数年はかかるでしょう。
2. 車両は現在も、サンゴ養殖に使用する多種多様な資材の輸送や、環境保護活動に定期的に使われています。

UNSDGs



Mission Verte

意識向上とリサイクルを通じた南東部地域の
エコロジカル・トランジションへの参加支援



注力分野



受益者数

助成金額

期間



意識向上- 693人

MUR 1,000,000

15ヶ月

グリーンアンバサダー1,300人



ヴェー・グラン・ポート(Vieux Grand Port)に設置されたリサイクルボックス



ポワント・ジェローム(Pointe Jerome)での教育セッション

プロジェクト概要

このプロジェクトの主な目的は、南東部地域の地域社会に廃棄物のリサイクルの重要性に関する意識を高めることでした。活動には、教育セッションや科学的プレゼンテーション、啓発用ショートフィルムの製作、公害に関する意識を高めるためのイベント、地域ですでに使用されている4つのリサイクルボックスの効果を強化し、新しいリサイクルボックスを設置することでリサイクル可能なゴミの回収を増やすこと、「グリーンアンバサダー」プログラムを通じた女性と若者のエンパワーメント、MOLチャリタブルトラストの助成を受けている他のNGOであるPrecious Plasticsとの協力によるイベントの開催などがあります。3ヶ月の延長がみとめられ、残りの資金を使用し、すでに開始している活動を継続しました。

プロジェクトの成果

1. 4本の短編啓発映画を製作し、オンラインで公開しました。
2. 各所にリサイクルボックスの交換、新しいボックスを設置しました。
3. グリーンアンバサダー・プロジェクトは、弱い立場にあるコミュニティ出身のメンバー1人に生計を立てさせ、リサイクルの重要性に対する意識向上に役立ちました。
4. 既存のボックスの影響が強まりました。
5. 地元地域では、プレゼンテーションや公開講演を通じて意識が高まりました。
6. Precious Plasticの協力のもと、海岸清掃と意識向上イベントが開催されました。
7. 南東部地域そしてその他地域の多くの住民が、この意識向上プロジェクトに影響を受けました。
8. 延長期間中に2件の科学会議を実施しました。

協力団体:

1. Precious Plastic Mauritius

UNSDGs



Marine Megafauna Conservation Organisation

EDUCプロジェクト(探求、発見、理解、保全)

注力分野



地域発展



教育



その他

受益者数



55人

助成金額



MUR 1,000,000

期間



12ヶ月



ダイビングコースでの実技セッション



モーリシャスの水中動物相に関する理論講義

プロジェクト概要

このプロジェクトの目的は、水中ダイビングコースとモーリシャスの海洋動物相の観察を通じて、海洋生態系の豊かさを伝え、海洋動物相を保護する必要性を地域社会に訴えることです。プログラムには、国際基準(CMASレベル1)の無料ダイビングコース、メガファウナの観察会、責任あるホエールウォッチングとイルカウォッチングをはじめとするモーリシャスの海洋生態系と生物多様性に関する講義が含まれています。参加者は合計4回にわたり開催されたプログラムの恩恵を受け、60人中55人が修了しました。彼らは、モーリシャスでの水中ダイビングコースやホエールウォッチングツアーには費用がかかるため、プログラムの提供がなければこうした活動は難しいと感じていたでしょう。

プロジェクトの成果

1. 参加者数は予想を10%上回りました。
2. プログラム終了時の知識評価で、60%の参加者が非常に良い、または優れた結果を示しました。
3. 参加者全員が、このプログラムは役に立ったと感じています。
4. 参加者の70%以上が、このプログラムを通じて海洋生態系と人間による影響について理解をより深めたと答え、また、自分の態度を改め、海をより大切にしようと思うようになったと回答しています。
5. 参加者の64%が、プログラムで得た新しいスキルは職業人としての成長に役立つと回答しました。
6. 参加者の約80%が、このプログラムによって新たなチャンスの扉を開き、さらに学びたいと回答しました。
7. 参加者の98%が、このようなプログラムを地域社会に提供すべきであるという意見に賛同しました。

協力団体:

1. Mauritius Scuba Diving Association 2. Blue Water Divers 3. Scuba World Diving Mauritius

UNSDGs



Pointe d'Esny Sanctuary Foundation

エグレット島(Ile aux Aigrettes)周辺の
海洋保全における地域社会統合の強化

注力分野



受益者数



-

助成金額



MUR 998,850

期間



12ヶ月



地域社会とステークホルダーの会合



地元のステークホルダーとの意識向上セッション

プロジェクト概要

ポワン・デズニー・サンクチュアリ財団(Pointe d'Esny Sanctuary Foundation)は、リーフ・コンサーベーション(Reef Conservation)と共同で、ポワン・デズニー(Pointe d'Esny)の自主的海洋保全地域の設立を提案しました。ロッシュ・ノワール(Roches-Noires)やアンス・ラ・ライエ(Anse La Raie)などのNGOが過去に島で設立した自主的保護地域はすでに成功を収めています。

ポワント・デズニー(Pointe D'Esny)のラグーンで実施された野外研究と調査により、この地域内にVMCAの候補地が6箇所特定され、特に独自の生物多様性プロファイルを示す場所でもあります。同様に、このようなプロジェクトには地域社会との強力な協力関係が必要でした。ラグーンの調査研究が行われ、地元のステークホルダーと協議して、プロジェクトに最適な場所と、遵守すべきルール（漁業禁止、錨泊禁止、サンゴの損傷禁止など）が定められました。

プロジェクトの成果

1. 地元のステークホルダーや地域社会との会合が数回開催されました。
2. 提案されたゾーン(6つ)の地図は順調に作製され、現地の動植物相に関する調査も実施されました。
3. フィージビリティ・スタディでは、南東部地域でVMCAを実施することの難しさが浮き彫りになりました。
4. 地元地域社会から提起された問題に対する緩和策、解決策、代替案が提案されました。
5. ポワン・デズニー・サンクチュアリ財団(Pointe d'Esny Sanctuary Foundation)の目的は、その保護にあります。海洋／沿岸／陸域水生環境の保全と回復です。

協力団体:

1. Reef Conservation

UNSDGs



Precious Plastic Mauritius

ポワント・デスニー(Pointe d'Esny)の海岸とラグーンに
自主的保護地域を創設

注力分野



地域発展



教育



その他



受益者数



2,500人以上

助成金額



MUR 871,900

期間



12ヶ月



ワークスペースを飾るボランティア



この地域の海岸清掃は定期的に行われています。

プロジェクト概要

プレシャス・プラスチック・モーリシャス (Precious Plastic Mauritius)は、プラスチック廃棄物のリサイクルとプラスチック汚染に対する意識向上を専門としている社会的企業で、学生たちが定期的に訪れるポワント・ジェローム青少年研修センター(Pointe Jerome Youth Training Centre)にプラスチック・リサイクルの作業スペースがあります。プロジェクトは報告期間中、教育と意識向上、地域回収サービスの提供と対象地域の清掃、パートナーシップと地域社会の協力関係の構築という、主に3つ活動に注力しています。

プロジェクトの成果

1. プレシャス・プラスチック(Precious Plastic)は、センターでのさまざまな参加型教育セッション、海岸清掃イベント、ワークスペースへの訪問などを通じて、地元の若者から大人まで、2,500人以上を対象に活動を展開してきました。
2. デカスロン(Decathlon)の支援を受け、チームは2022年7月、プラスチックのリサイクル工程を実演するための自転車用プラスチックシュレッダーを設計・製作しました。誰もが自転車に乗れるため、教育目的の高いツールになっています。
3. 幸い、プレシャス・プラスチック(Precious Plastic)は報告期間中、特定のプロジェクトやタスクで国内外のさまざまなボランティアの協力を得ました。
4. 年間を通じた主な活動には、海岸清掃、教育・啓発セッション、地域循環型経済イニシアティブの開発、島中で開催されたクラフトマーケットやリサイクルイベントへの参加などがあります。

協力団体:

1. Mission Verte
2. Youth with Disabilities Empowerment Platform
3. Decathlon
4. Odysseo

UN SDGs





受益者数



250人

助成金額



MUR 1,000,000

期間



13ヶ月



マーレ・タバック(Mare Tabac)の温室研修施設



マーレ・タバック(Mare Tabac)の温室研修施設

プロジェクト概要

プロジェクトの目的は、社会的弱者の子どもたちに、野菜の持続可能な温室栽培の方法を教えることでした。インタラクティブな農業講座と、マーレ・タバック(Mare Tabac)に研修用温室の建設に携わりました。子ども、10代の若者、家庭の女性、教室に通うスタッフを含む合計250人の受益者が、他2つの協会の協力を得て、研修を受けました。

プロジェクトの成果

1. マーレ・タバック(Mare Tabac)の温室／研修施設の建設が完成しました。
2. 社会的弱者や若者たちのバイオ農業研修は無事に終了しました。
3. トレーニング・セッションで、若い受益者の何人かに自信を持たせるのに役立ちました。
4. 若い受益者の中には、研修で自分に自信を持てるようになりました。
5. 他のNGOトレーナーもプログラムに参加し、食糧の栽培方法を学びました。
6. 収入源としての食糧栽培に興味を示す参加者も何人かいました。

参考動画: - <https://youtu.be/b491rsDGNww>

協力団体:

1. Youth With Disabilities Empowerment Platform
2. Bonheur Associé aux Enfants
3. Bâtisseurs de Paix
4. Mahebourg Espoir

UN SDGs



受益者数



モーリシャス

助成金額



MUR 1,000,000

期間



12ヶ月



プロジェクト受益者の皆さん



苗圃(びょうほ)で作業する人たち

プロジェクト概要

ラ・ヴァレ・ド・フェルニー保全基金(La Vallée de Ferney Conservation Trust)は、モーリシャス固有の森林最後の生き残りが生息しているラ・ヴァレ・ド・フェルニー (La Vallée de Ferney、フェルニー渓谷) の固有植物の保全を確実に進めるために設立されました。資金は、様々な希少植物種の増殖を確実に行うために使われました。苗木は苗床で育てられ、森に植えられました。このプロジェクトには、外来植物の除草やエコガイド付き森林ツアーも含まれています。新しい苗床も増設されました。

プロジェクトの成果

1. プロジェクトの受益者として、ヴェー・グラン・ポート(Vieux Grand Port)とリヴィエール・デ・クレオール(Riviere des Creoles)の地域に住む元砂糖産業労働者10人を雇用しました。
2. トラストはこの年、1万本以上の新しい苗木を入手しました。
3. 新しい苗床では2022年8月現在、1万本以上の若木を育てています。
4. 2022年12月には、この苗床を合わせて3万本以上の苗木が植えられ、これは今までにない数です。
5. 渓谷の調査によって、固有植物の密度が低いゾーンと高いゾーンが特定されたため、新たな森林再生地域が定められました。
6. プロジェクトに先立って、絶滅の危機に瀕している種の調査が行われました。この渓谷には17種の絶滅危惧種が生息しています。
7. 2022年には、多数の小学生を含む合計2,753人がこの渓谷を訪れました。

協力団体:

1. Mauritian Wildlife Foundation

UNSDGs



注力分野



マングローブ



地域発展



教育



その他

受益者数



858人

助成金額



MUR 987,500

期間



15ヶ月



苗木と青色ドラム缶を配布



縫製研修を受講した授賞式に出席する受益者の方々

プロジェクト概要

南東部地域の6つの村は、主に女性と男性の漁師、植木職人、肉体労働者で構成されており、モーリシャスで最も貧しい村のひとつでもあります。彼らの窮状は、「WAKASHIO」号の燃料油流出事故と新型コロナウイルス感染症の大流行の影響を受けて、さらに悪化しました。村と住民のニーズは、(1)社会経済的地位の向上、(2)生活条件と生計を向上させるための沿岸環境の保護と復旧にあります。

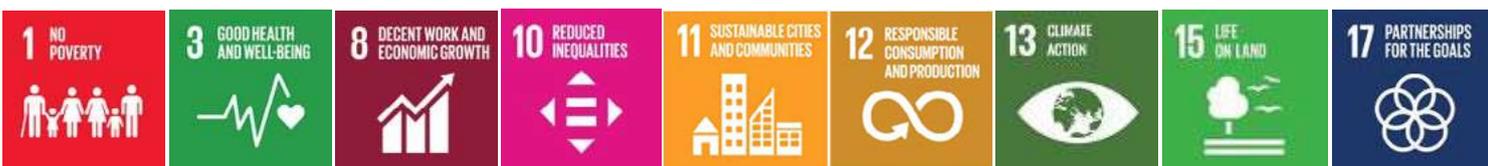
プロジェクトの成果

1. 当プロジェクトでは、南東地域の女性11人がエコバッグの縫製研修を受け、その後上級コースも受講しました。現在、彼女たちは自分たちの共同事業体を立ち上げ、5台のミシンを購入し、女性自宅で事業を立ち上げました。推定月収(100織物製品の1ヶ月の生産量): 5085ルピー。女性一人当たりの月収: 1017~2500ルピー
2. モーリシャス南東部地域の女性23人も、SMEモーリシャスによる菓子製造の研修を受けました。研修生たちは現在、小さな個人事業を立ち上げ、ケーキの注文を受けています。研修生1人当たりの月間推定売上高: 405~1800ルピー(受注状況による)
3. 同地域の51家族には、さまざまな果樹、5種類の種子、4つの園芸用具、苗トレイ2個、堆肥袋が提供され、敷地内に植えるスペースが限られている家族には、屋上や裏庭でのガーデニング用のコンテナ(ドラム缶)が提供されました。多くの家族は現在、野菜やハーブを収穫し、中には低収入を補うためにそれらを販売している家族もいます。
4. ADDは、マングローブの保全に関する地域社会の意識を高めるため、活動を実施しました。2回の海岸とマングローブの清掃活動、各地の学校で気候変動とマングローブのプレゼンテーションを実施、リビエール・デ・クレオールGS(Rivière des Créoles GS)の庭に12本の固有種、薬用種、装飾用の苗木を植え、種と堆肥を提供、パンフレットとバナーの印刷。

協力団体:

1. Rivière des Créoles Gov School 2. Grand Sable Gov School 3. Quatre Soeurs Gov School
4. St Cecile RCA (Bambous Virieux) 5. Bois des Amourettes Gov School

UN SDGs



Biodiversity Preservation

学生のエコロジー、環境、生物多様性への意識向上を目的とする

革新的なエコリテラシー・ツールキット開発

注力分野



受益者数



156人

助成金額



MUR 985,000

期間



15ヶ月



LCBVの学生との養蜂ワークショップ



LCMの学生によるショートビデオクリップ制作

プロジェクト概要

新型コロナウイルス感染症という新たな現実に対応するため、青少年が学業と非学業のバランスの取れたキャリア経験を豊かにする生物多様性保全の新たなニーズが生まれています。その取り組みとは、学生がオンライン学習ガイドにアクセスできるようにすることであり、それによって学生たちは、オンラインのエコリテラシー・ツールキットを開発するアンバサダーとしてエンパワーメントが醸成されます。

プロジェクトの成果

1. チェンジメーカーやアンバサダーとして学生のエンパワーメントを醸成することで、学生による学生のための革新的なエコリテラシー・ツールキットを開発。LCMの生徒29名がアンバサダーとして、12の環境テーマを取り上げたコミュニティ・カードゲームに、学校のコミュニティ、家族、友人と参加しました。
2. このような学生単位のツールキットで学生たちは、新しい持続可能なアイデアを生み出し、一緒に考え直しながら知識、経験、課題を共有するという、アイデアプロセスに参加しています。ハミルトン・カレッジ・ガールズ(Hamilton College Girls)は、リサイクル素材を使った彫刻でスラムの様子を描きました。
3. プロジェクトは、ハミルトン・カレッジ・ガール(Hamilton College Girls)、ハミルトン・カレッジ・ボーイズ(Hamilton College Boys)、YWDEP、アクション・ファミリアーレ(Action Familiale)の全面的な支援によって、学校とNGOを結びつけ協力を促し、さらに多くの学校やNGOへと、効果が雪だるま式に膨らみ広がっています。例えば、10パックは、アクション・ファミリアーレ(Action Familiale)に届けられ、来たる環境ワークショップで使用され、50人の受益者がコミュニティ・カードゲームに参加する予定です。
4. 持続可能な地域社会を構築するというビジョンに基づき、複数のLCBVグループと共に、エコクラブ設立の提案を審査し、一般市民との即席インタビューを行うなど、グランド・ポート(Grand Port)の地域社会が環境と気候変動に関する行動を呼びかけました。

協力団体:

1. Loreto College Mahebourg 2. Loreto College Bambous Virieux

UN SDGs



FALCON Association

持続可能な農業生産システムの研修を通じ、モーリシャス南東部地域の若者のエンパワーメントの醸成を図り、地域社会の再構築を目指す

注力分野



地域発展



教育



その他

受益者数



120人

助成金額



MUR 963,750

期間



11ヶ月



菜園を準備するマエブール・エスピワール (Mahebourg Esprit)の若者たち



菜園を準備するMITDマエブール(MITD Mahebourg)の若者たち

プロジェクト概要

南東部地域における持続可能な農業技術の能力開発を通じて青少年のエンパワーメントの醸成。

プロジェクトの成果

生徒たちは有機農業と持続可能な農業のさまざまな実践方法を学び、今では自分たちの家庭でも実践しています。プロジェクトを通じて、受益者は自宅の庭で以下の野菜を栽培できるようになりました (レタス、コリアンダー、オクラ、インゲン豆、ミント、プリンジャル、トマト、チリ、ネギ、キュウリ、ピーツ、キャベツ・カブ、ラディッシュ、ヒラタケ。例えばアヤプ・アナ、ミント、ハイビスカスなど) 薬草や観賞用植物も提供し、庭の自然のバリアとして機能しました。作物は、マエブール・エスピワール学校(Mahebourg Esprit School)、MITDマエブール(MITD Mahebourg)、MITDカロー・エヌフ(ITD Carreau Enouf)、YWDEPのそれぞれの施設で栽培され、若い受益者は収穫を分かち合い、野菜にかかる家計費を75%削減しました。植え付け作業も繰り返し行われています。初の収穫の後、受益者の人たちは学校や自宅の庭で作物をつくり続けました。

協力団体:

1. Mahebourg Esprit
2. MITD Carreau Enouf
3. MITD Mahebourg
4. Youth With Disabilities Empowerment Platform

UN SDGs



NGO:

Fondation Ressources et Nature (FORENA)

マングローブや有用植物の繁殖と苗床管理を通じた女性のエンパワーメントの醸成とトレーニング

注力分野



地域発展



マングローブ



その他

FORENA
Fondation Ressources et Nature

受益者数



15人

助成金額



MUR 999,000

期間



12ヶ月



ファーニー・アグリハブ
(Ferney Agri-hub)の保育施設



植物繁殖研修用に購入したコンテナおよび備品

プロジェクト概要

プロジェクトの目的は、マングローブや有用植物の植栽と増殖用の苗床を建設すること、また、脆弱な地域社会出身の南東部地域の女性たちに職業の場を提供し、彼女たちに代替生計手段を与えることです。プロジェクトは、いくつかの課題があるため遅延が生じていますが、受益者研修の2つ目の項目は、別のスポンサーとの共同出資に基づき、数ヶ月後に開始される予定です。

プロジェクトの成果

1. 保育施設の建設が完了しました。
2. 研修に必要な資機材を確保しました。
3. このプロジェクトでは、植物の繁殖に関する訓練と、苗床を通じた女性のエンパワーメント醸成に重点を置きました。
4. (共同出資される) 研修項目は、習得した能力の現場での監督と関連していません。
5. 6ヶ月で女性15人が週3回の研修を受けています。

協力団体:

1. La Vallee de Ferney Conservation Trust

UN SDGs





お問い合わせ先

Email : mol_charitable_Trust@molgroup.com

Phone: 4686257

Office B5-03, Level 5,

Tower C, I Exchange Square, Wall Street,

Ebene Cyber City 72210, Mauritius